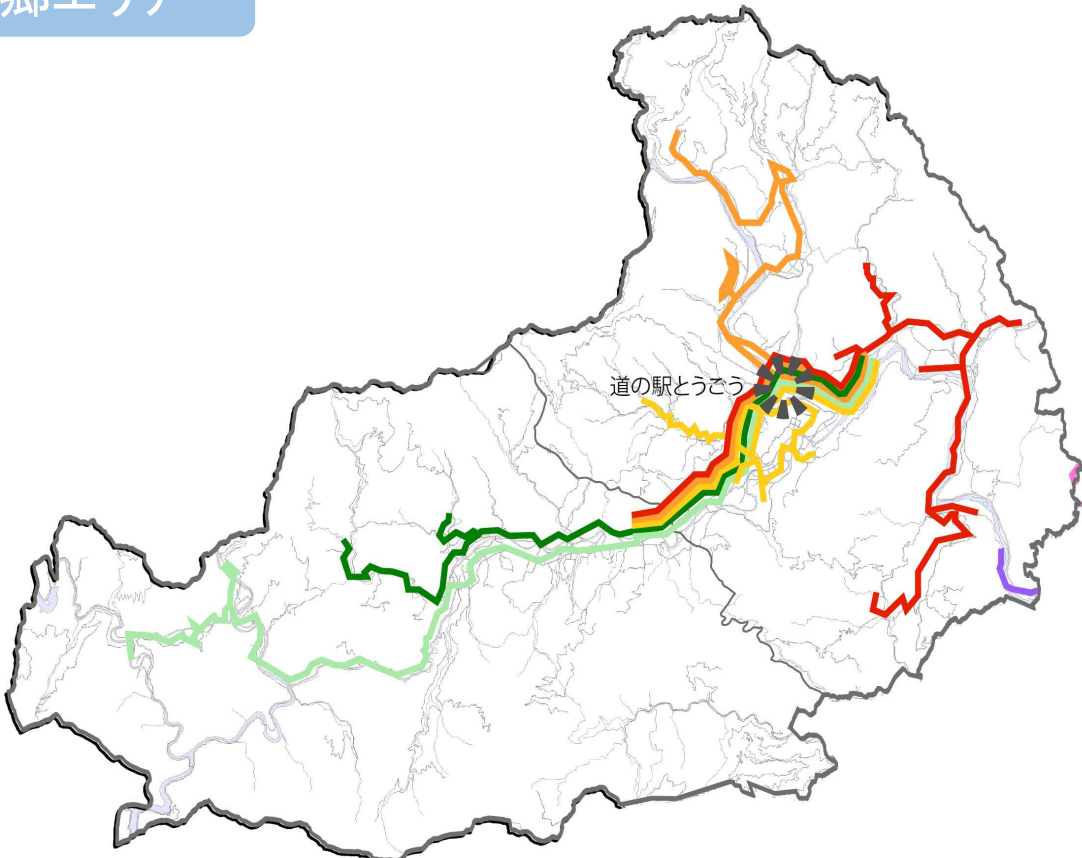


2025年6月

東郷地域における新交通体系の検討について

日向市地域公共交通会議

東郷エリア



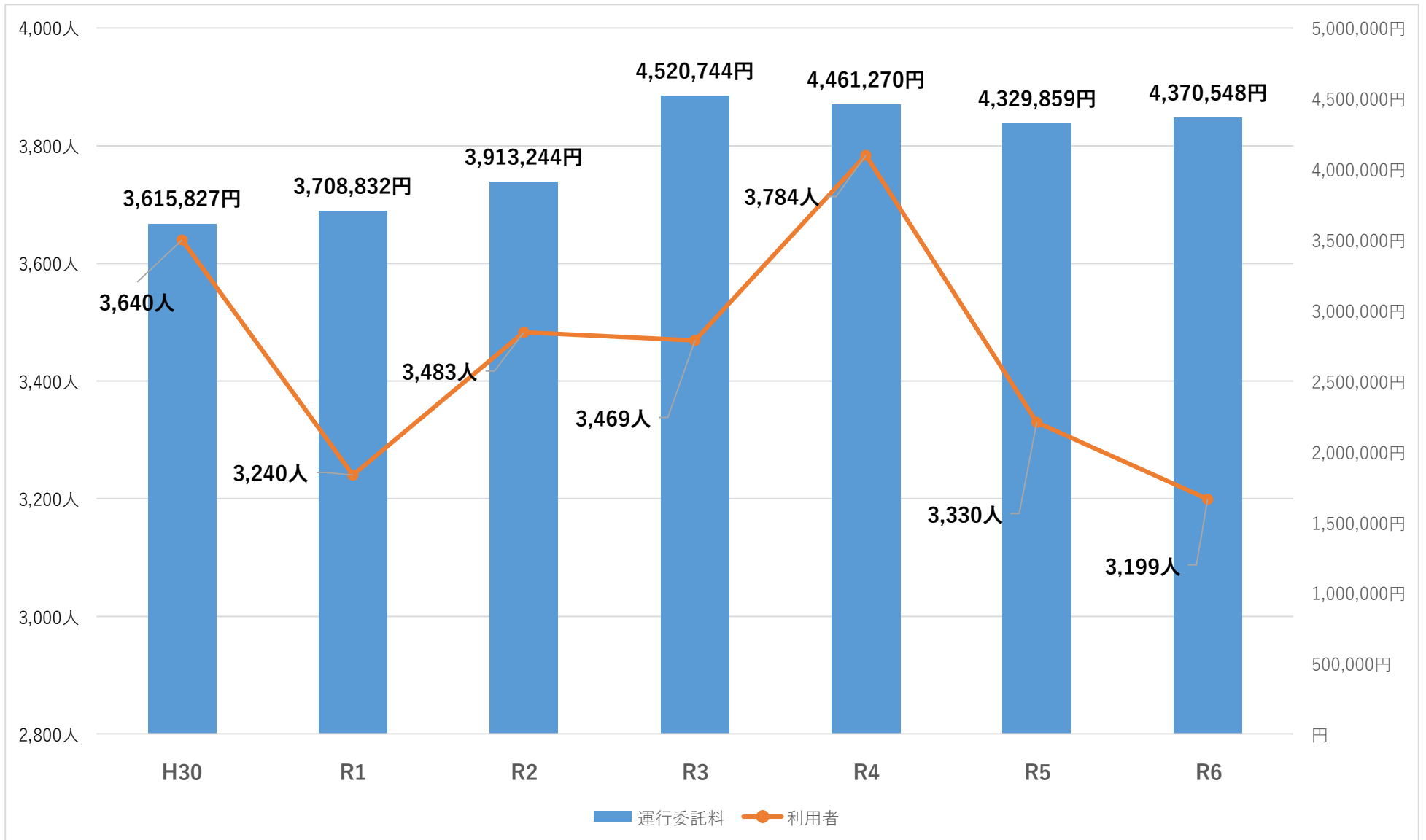
▲乗合バスとうごう

☆東郷エリア（対象人口：約2,500人 面積約218km²）「乗合バスとうごう」

人口の約5%が東郷エリアに在住、路線バスが1日9便、エリア中心部と市街地をつなぐ。市民バスは、デマンド型の小型車両でエリアを5地区に分け、それぞれ週2日の運行。

R6実績 → 利用者数 3,199人 委託料**4,370,548**円 (1人@経費1,366円)
収入 544,400円 (1人@欠損額1,196円)

乗合バスとうごうの利用者の推移



日向市東郷地域の現状

乗合バスとうごう

- 平成21年4月 乗合バスとうごうの運行開始
日向市社会福祉協議会が実施していた移送サービスから日向市が運行する自家用有償旅客運送で運行。
5地区を東郷地域中心部（道の駅とうごうと東郷病院）と結ぶ
- 平成30年10月 乗合バスとうごうの運行内容変更
各地区**週2回（午前と午後を別の曜日）**及び1日8便とする運行開始
- 令和4年3月 車両更新（ハイエース）
- 運行受託者 日向交通協同組合（柳田タクシー） ○運賃 200円

課 題

- 東郷地域内の公共交通が限られている
 - ・週2回午前午後しか移動できない
（※東郷中心部と市中心部は宮交バスが1日9回往復）
- 住民減少が進んでいる（約2,500人）
 - ・需要が少ない
- 面積が広い（218キロメートル²）
 - ・集約的な交通を提供するには費用がかかる

AIODB交通を導入予定の市街地部とは
地域の実情や課題が相違。
違ったアプローチで課題解消を図る
必要があると考えているため、
住民の自家用車を活用した乗合交通
を参考に

「日向市東郷地域新交通体系導入基本方針」

を策定します。